

Title	子会社における社長人事と企業業績：プロパー出身か親会社出身か
Sub Title	
Author	金原, 幸作(Kanehara, Kosaku) 清水, 勝彦(Shimizu, Katsuhiko)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2014
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2014年度経営学 第2934号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002014-2934

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（ 2014 年度）

論文題名

子会社における社長人事と企業業績
—プロパー出身か親会社出身か—

主 査	清水 勝彦
副 査	磯辺 剛彦
副 査	齋藤 卓爾

学籍番号	81330429	氏 名	金原 幸作
------	----------	-----	-------

論文要旨

所属ゼミ	清水勝彦研究会	学籍番号	81330429	氏名	金原 幸作
(論文題名) 子会社における社長人事と企業業績 —プロパー出身か親会社出身か—					
(内容の要旨) 本研究は、社長の属性と企業業績の関連性に関して、実証研究（二項ロジスティック分析・パネルデータ分析）を行う。対象は日本企業の国内子会社（東証一部・二部上場）である。本研究における社長の属性とは社長の出身母体（プロパー、親会社、親会社時代の役職）を指す。研究内容として、①親会社子会社の業績と子会社社長属性の決定要因の関係性 ②社長属性によって業績に違いが出てくるのか という二点を実証（定量）分析し、分析結果を補完する目的でインタビューを行い、考察を行った。なお、具体的な検証方法はSPSSを用いて、①二項ロジスティック分析②マルチデータ分析で行った。 研究結果として、①過去二年間平均業績が悪化している場合、新社長は親会社もしくは親会社同士の社長交代でも前任者より役職の高い人材が就任する傾向にあること ②社長就任後、プロパー出身の社長の企業業績は親会社出身の社長の企業業績に劣る傾向にあること ③子会社の社長の年齢は高いほど企業業績は向上する傾向にあること の3点を、定量分析を通じて示すことができた。 本検証結果を基に社長インタビューを経て、以下の考察に至った。 子会社の社長というポジションが従来の親会社時代の貢献度合いに対する対価のみの意味合いだけでなく、業績を常に管理し、必要によっては業績回復のため親会社の影響力を強く持つ人材を投入する傾向があることが分かった。またプロパー出身の社長が親会社出身の社長より企業業績が劣ることは①経営者としての経験値の差②親会社とのグリップの違いが理由ではないかと考える。 以上より、本研究の成果は子会社の在り方が親会社の中で変化していることを示すほかに、子会社社長に親会社出身の社長が就任することに一定の合理性を与えるものである。 なお、研究の限界として分析対象を上場子会社に限定している点が挙げられる。上場子会社は親会社以外にも株主は存在し、外部チェック機能が働くため業績に連動している可能性が挙げられる。また定量分析はあくまでも傾向を示すだけであり、個別の企業によって環境も異なるため今回の傾向が全ての子会社に当てはまるわけではないことを述べる。					